



Women And Men

WAM

通信

ワーク・ライフ・バランスを考える

特集1 男女共同参画週間記念講演 報告

「パパはお天気キャスター」 正木明さん

「私のライフスタイル」 小濱達郎さん

「スウェーデンにおけるワーク・ライフ・バランス」 高橋美恵子さん

ローズWAMで映画を観よう

特集2 WAMシアター



ローズWAM 名前の由来

ローズは茨木市花の「バラ」を表し、
WAMはWomen And Menの頭文字をとったものです。



茨木市・茨木市立男女共生センターローズWAM

報告

平成28(2016)年度

男女共同参画週間記念講演

毎年6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に合わせて、ロースワムでは記念講演会や関連講座を企画しています。今年の子育てを実践している二人の男性の講演と、男女共同参画先進国スウェーデンのワーク・ライフ・バランスについての講座を開催しました。



土曜日の昼下がりに、ワムホールはテレビでおなじみの正木さんの姿をひと目見たい、お話を聞きたいと集まった参加者で満席になりました。

講演に先駆けて、当日朝の天気予報図をスクリーンに映してテレビさながらの生天気予報。いつものさわやかな声で、天気予報を見る時のポイントや注意点をわかりやすく解説してもらいました。

子育て歴12年。正木家のルールとは？

パパが早朝に仕事をして昼間に帰ってくるので、家族3人で顔を合わせる時間が長い正木家。子どもが赤ちゃんの時から子育てに参加してきた正木さんは、成長をママと同じくらい見てこられました。

「僕は僕、パートナーはパートナー、子どもは子ども…それぞれの人生、個々が大事！」正木家では家族がそれぞれ家事分担をしていて、飽きたら交代しているそう。分担を決めているとあらかじめ自分の時間軸に入れることができるので、多趣味の正木さんでもストレスを感じないそうです。

正木家の子育ての基本は、子どもの考え

を尊重し、親の考えを押し付けられないこと。よく話を聴き大げさにほめてあげる、話を聴く時は感情的になったり大声を出したりしない。そうすることで子どもは「親は自分を見てくれている、親は味方」と実感し、信頼関係を築くことができるそうです。「小さいころから信頼関係を築いていると必ずわかり合えます。親は反抗期を怖がらなくてもよくなりますよ。」

市長との対談も

後半は福岡洋一市長も壇上へ。自身も3歳の子の子育てを実践中の市長をはじめ、参加者からの質問に丁寧に答えてくださいました。

「激務のお父さんが子どもと接する時間を増やすには？」という質問に、少し考えてから「メールをしています」と正木さん。「発達した情報ツールを活用すべき。メールでしか伝えられないこともありますよ」。今年から娘さんが中学生になり、今まで一緒にいる時間が少なくなっただけという実体験からのアドバイスに、参加者の中には大きくうなづく姿が見られました。

6/18 パパはお天気キャスター

子育て、家事、互いを尊重し支え合う
正木家のルール

気象予報士、防災士

正木 明さん

早稲田大学工学部卒業。20歳からサーフィンを始め、それをきっかけに気象の勉強を始める。ABC「おはよう朝日です」お天気キャスターを26年間勤める。中学1年生女子の父。趣味：ロードバイク、サーフィン、写真、ギター。神戸市在住。



6/26 スウェーデンにおけるワーク・ライフ・バランス

柔軟で多様な働き方の実践

大阪大学大学院
言語文化研究科教授

高橋 美恵子さん

京都市生まれ。スウェーデン国立ストックホルム大学院卒。スウェーデンに12年半滞居後、大阪外国語大学講師、助教授を経て現職。家族社会学とジェンダーの視座から、スウェーデンをはじめとする欧州先進諸国と日本における家庭生活とワーク・ライフ・バランスに関する比較研究を行っている。

現在、男女共同参画社会の先進国であるスウェーデンも100年前は女性・子どもに権利がない格差社会で貧困問題を抱えていたそうです。問題が大きかった分、変えねばならないという意識が高まり、70年代には男女ともに経済的に自立することが社会規範となり、共働き型社会へと移行、仕事と家庭生活の両立が可能な労働環境が整備されていきました。

高校を出たら親元から自立するのが当たり前なこと、大学の学費が無料なので何歳からでも学び直しができること、男性が「親業」を経験することは人間力がつくこととしてプラスに捉えられていること…柔軟な働き方を可能にするためには、国の手厚い保障に頼るだけで

6/15

シンガーソングライターであり、
主夫であり、農夫である

私のライフスタイル



茨木市立男女共生センター
ローズWAM所長
藤井 紫津子

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、『女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)』が制定されました。“女性の活躍”と言われても、『なんかしっくりしない』『もっとがんばらなあかんの?』と思ってしまう方も多いのではないのでしょうか。この法律をよく見てみると、男性も含めたワーク・ライフ・バランスの見直しや、女性本人の意思に基づいた働き方ができるような幅広い取り組みを求めており、改めて男女共同参画の意義や私たちの暮らしと働き方を見直すきっかけとなる内容となっています。

茨木市では男女共同参画社会の実現をめざして、第2次男女共同参画計画を策定しています。今年は計画の中間年度にあたり、女性活躍推進法や社会変化に対応するため、市民のみなさんの声をお聴きし、計画の見直しを実施します。

男女共同参画社会の実現に向け、さまざまな発信を行っている男女共生センターローズWAMに、みなさん、ぜひお立ち寄りください。そして、あなたにあった“活躍”を探してみませんか。スタッフ・アシスタント、職員一同、あなたの“活躍”を応援いたします!



シンガーソングライター 小濱達郎さん

高槻市生まれ。茨木高校・大阪大学・同大学院卒。大学でアカペラと出会い、歌、ピアノを始める。ライブ活動のかたわら、自然農の畑で自給自足を目指し、1日3食を作り5歳・3歳・0歳の3児を育てる“主夫”。ローズWAMのテーマソング「ローズWAMにいこう」を作詞・作曲。

今年2月のローズWAMまつりのオーブニングコンサートが大好評だった小濱さん。今回はご自身の経歴と現在のライフスタイルを話しながら、その時々的心境を詞にのせたオリジナルソングを8曲披露してくださいました。そのなかから印象的な2曲をご紹介します。歌に込められた小濱さんの「想い」とは…?

♪It's not too late

始めるのが遅すぎたかなって

不安になるんだ

でも 抑えきれない想いがあるから

It's not too late No No まだまだ

夢は時を超えて

親の敷いてくれたレールの上を歩み、親に喜ばれるために勉強してきた。しかし、幸せの意味を考えた時、自分の気持ちに嘘をつかず、やりたいことを追求して生きて行けるはずと、音楽の道へと進み始めた。ピアノを始めたのは23歳のとき。スタートが遅かったとしても信念を持って貫いていけば必ず道は開ける、夢は叶うと信じて。

♪ダイジヨウブ

絶対大丈夫あせることなんかないさ

ひとりきりじゃないってこと

忘れないで

まちがえたってかまわない

迷わず進め

3人の子どもの父親になり、子どもの誕生を通じて出産について勉強する中で、自然への関心も高まっていった。いかに不自然な食べ物に囲まれているかを感じ、一からのお米作りも始めている。これからは自給自足的な暮らし、自然と寄り添う暮らしを維持していけることを目指している。安心感、大丈夫だという実感を持ち、笑顔で生きていけるように、その笑顔の輪が広がっていく事を願っている。

小濱さんが自分自身と向き合い、家族、仕事、さらには自然とどのようにバランスをとって生きていけばいいのか。夫が家事を「手伝う」のではなく、「仕事」暮らし」にしていきたい…悩みながらも強い信念を持った生き方・考え方に触れ、少しは変わることが出来るかもしれないと勇気ももらえたのではないのでしょうか。



スウェーデンの街角 (講師提供)

なく、国民の意識の変革も大切なようです。
高橋さんの当地での就労体験や、ヒヤリングによる「生の声」を知ること、スウェーデンにおける働く人々の実態を身近に感じることで、ワーク・ライフ・バランスの理想を考える機会となりました。

入場無料

座席数180席

毎月第3金曜開催

ローズWAMで 映画を観よう

映画には時として心を揺さぶられる感動があります。笑ったり涙したり考えさせられたり…。映画館さながらの雰囲気を楽しめるワムホールで映画鑑賞しませんか。

WAMシアターは

平成12年のローズWAM開館当初から、ワムホールでの「シアター」と、会議室で少人数で行う「ビデオ・トーク上映会」、「DVD・トーク上映会」、「アンコール上映会」などを実施してきました。今年から、それらをひとまとめにして毎月ワムホールで開催し、たくさんの方々にも鑑賞していただけたようになります。

作品の内容は

性別にこだわらず、自分らしく生きていくことを応援するとう、ローズWAMの主旨に合うものを選ぶことを基本としています。シアターがきっかけで初めてローズWAMに来られたという方もいるので、あまり堅苦しいものにならないよう考慮し、選定しています。

作品を選んでいるのは

1階ネットワークギャラリーの管理・運営をする「情報スタッフ」が選んでいます。ローズWAMの上映会として合うもの、そして上映権（DVDを上映できる権利）が付いていることが条件なので、選択肢はあまり多くありません。

んが、スタッフは日頃から新聞や雑誌の映画評、上映中の映画などをチェックして、よりよい映画をみなさんにお届けできるように心掛けています。

今年初めて

「風と共に去りぬ」(9月)、「ローマの休日」(平成29年2月)など、古典といえるようなものも選びました。作品の舞台となった時代の女性の生き方や、映像が作られた時代の女性像を知る機会になればと思います。久しぶりに観る方、今までに観る機会がなかった方、ぜひこの機会にどうぞ。

一時保育を利用して

子育て中で映画を観に行くのが難しいお父さん、お母さん。ローズWAMの2階にある「こどものへや」にお子さんを預けて、ひととき映画を楽しんでみませんか。

シアターに参加できなくても

上映する映画DVDはローズWAM館内で個人視聴できます。シアター初上映作品の個人視聴は、シアター実施以降可能になります。詳しくは窓口までお問い合わせください。

来場者の声

9月上映「風と共に去りぬ」のアンケートから抜粋したものです。

- 名画はすばらしい。しっかりとじっくり味わう時間をありがとうございました。
- テレビ、ビデオではよく観ましたが、今回は画面が大きいので迫力があり、おもしろかった。
- この映画がローズWAMで観られるのを心待ちにしていました。
- 若い時代から何度となく観ましたが、世代ごとに感じることも元気をもらえます。
- この映画のように力強い生きていきたいです。
- 主人公は明るく強い女性でした。前向きになりました。

事前申込みが必要です!

お申込みはお電話で
上映月の2日午前9時から
(休所日の場合は変更あり)

☎ 620-9920

一時保育は上映日の7日前
(休所日を除く)

までにお申込みください。
(1歳～就学前、有料、定員あり)

2017
1/20

「幸せな家族」の危機的状況 フレンチアルプスで起きたこと



2014年スウェーデン・デンマーク・フランス・ノルウェー映画 118分

監督：リューベン・オストロンド

出演：ヨハネス・バー・クンケ ほか

スキーリゾートにバカンスにやってきた一家4人。ランチを楽しむテラスに人工的に起こした雪崩が近づいてきます。「だいじょうぶだよ」と言っていたのに3人を席に残して姿を消した夫。幸い4人は無事でしたが…。雪の崩壊が家族の崩壊！その後の家族と、家族をとりまく人々の人間描写…考えさせられる映画です。

WAMシアター LINE UP

2/17

半世紀経っても変わらない良さ ローマの休日



1953年アメリカ・イタリア映画 118分

監督：ウィリアム・ワイラー

出演：オードリー・ヘプバーン、グレゴリー・ペック ほか

ローマに滞在中の某小国の王女アンは、公務に嫌気が差し、大使館を脱出。偶然出会ったアメリカ人新聞記者ジョーとの間に恋が芽生えるが…。『妖精』オードリー・ヘプバーンの記念すべきアメリカ映画初出演作品！！

2016
11/18

心と身体の性を考えるドキュメンタリー映画 ロバート・イーズ



2000年アメリカ映画 90分

監督：ケイト・デイビス

出演：ロバート・イーズ、ローラ・コーラ ほか

女性として生まれ、男性として生きる道を選んだ、ひとりの人間の苦悩と希望。やさしく見守る人たちと最期の日々をむかえられた「彼」は幸せだったと思いたい…。

3/17

衰退都市のまちおこし 女たちの都～ワッゲンオッゲン～



2012年日本映画 103分

監督：禰映

出演：大竹しのぶ、松田美由紀、杉田かおる ほか

熊本県天草市。日本一元気がなくなった町をどうにかしようと、呑んでばかりの男たちに代わって立ち上がった女たち！衰退も高齢社会も家庭の問題までも一挙に解決しちゃいます。

12/16

金子みすゞ波乱の生涯 みすゞ misuzu



2001年日本映画 105分

監督：五十嵐匠

出演：田中美里、中村嘉律雄、永島暎子、加瀬亮 ほか

『鈴と、小鳥と、それから私、みんながって、みんないい』大正から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人、金子みすゞ。童謡詩人として、女性として、妻として、短くも波乱に満ちた生涯を誠実に生き抜いた、みすゞの姿を描き出しています。

ローズWAMの講座・イベント

ローズWAMには、いくつもの講座やイベントがあり、それぞれ魅力ある特徴を持っています。さまざまなタイプの人にマッチするポイントが必ずあるはず。見つけに来てください!



● 学びたい

わたしのからだを知ろう

自分の身体や性について学んでみたい! 身体のチェックをしたり、LGBTについて学んだり…。

自分ひとりで本を楽しむ日

毎月大好評! 読書・DVD鑑賞・インターネットを「自分ひとり」で楽しみませんか。その間、お子さまは「こどものへや」でお預かりします。

暴力防止啓発講座

DV・ストーカー・リベンジポルノなどをテーマに年に2回程度開催しています。正しく理解して前に進むために一緒に考えてみましょう。



● 人と話すことを楽しみたい

コミュニケーション講座

人と会うのが楽しくなる! を目的に、コミュニケーションを楽しく学びましょう。



● 芸術が好き

ワムワムらくご

伝統芸能が気になっているけど、寄席に行くのはハードルが高い…プロの落語がなんと500円で楽しめます。

WAMシアター

ホールで映画が楽しめます。今号3~4ページで詳しくご紹介しています。

たそがれコンサート

月1回、エントランスホールで入場自由のコンサート。色んなジャンルの音楽を気軽に楽しんで。



● 悩みがある

小さな心配事でもお気軽に相談ください。

- ・電話相談 ひとりで考え込まないで、一度お電話してみてください。
 - ・面接相談 要予約。相談員がゆっくりとお聴きします。心の整理をしながら、ともに考えていきましょう。
- ★詳しくは裏表紙をご覧ください。

Information

詳細はHP、チラシをご確認ください。



● 何にでも興味津々

男が学ぶ、遊ぶ、楽しむ! 講座

幅広く色々な事が学べます。今年度のテーマは、芥川龍之介・万華鏡作り・オーストラリア・ユーモアなどなど…きっと興味があるものが見つかるはず!



● 料理してみたい

初心者 男の料理

男性限定、初心者優先のお料理教室なので、安心してご参加ください。



● 子どもと楽しみたい

わむっこくらぶ

保育スタッフによる手あそび、リズムあそび、絵本の読み聞かせなど。保護者と子ども、いっしょに遊びましょう。

暴力防止啓発講座

ローズWAMでは女性に対する暴力を根絶するため、パートナー間の暴力をはじめ、暴力の背景にある課題や被害者の心理的支援について学び、暴力を未然に防いでいくこと、対策に努めること、また啓発活動の一助となるよう、年に2回講座を開催しています。今年度のテーマは「身近な私たちにできること」です。

報告

7月1日(金)、NPO法人レジリエンス副代表理事 西山さつきさんをお招きして講演会「DV・トラウマを理解する」を開催しました。

「DV」の基本的な知識の説明のあと、暴力が被害者にもたらす影響や、トラウマからの回復において支援者に必要な対応についてお話いただきました。暴力を容認しないこと、子どもには「暴力をふるわずに解決する姿」を見せること、被害者の回復力を信じて支援することで、暴力に向かわせない社会を作ることもできるそうです。

DVの当事者でなくても、私たちにできることをやっていこうと考えさせられました。

お知らせ

毎年11月12日から25日(女性に対する暴力撤廃国際日)の2週間は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に設定されています。

ローズWAMでは11月12日(土)、徳島大学保健管理・総合相談センター講師である 井ノ崎敦子さんをお招きし、「若者を取りまくリベンジポルノ・ストーカー」講演会を開催します。また、「人身取引」、「女性に対する暴力」の理解を深めるためのパネル展示も行っています。

被害の現状を知り、正しい知識を身につけ、対応を学びましょう。そして、あなた自身が出来ることを考え、自分や大切な人を守るためにはどうしたらいいか一緒に考えてみませんか。

パネル展示

「人身取引」と「女性に対する暴力」をなくすために
 展示期間: 11月2日(水)~28日(月)
 場 所: 1階エントランス・ネットワークギャラリー前

第17回



ここローズWAMで
つなごう、つなげよう あしたに未来に

平成29年2月5日(日)

午前9時30分~午後5時

入場無料

●講演会 午後3時~5時

「もっと輝く、明日からの生き方」

講師: 関西学院大学客員教授・国際NGO
 ブラン・インターナショナル・ジャパン 理事

大崎麻子さん

〈要申込〉1月6日(金)から

- ワークショップ、発表、展示
- 軽食・デザート販売 など



Book Guide

1階ネットワークギャラリーで貸し出しもしています。

主夫のトモロー



「主夫」。今では珍しくない言葉ですが、受け入れられているかどうかは別問題。主人公トモローが問題に直面することで、読者も改めて根深い性別役割分業の意識に気づくことができます。妻も夫も共に笑顔でないと、旧来の主婦の問題をまた主夫が繰り返すばかり。本人だけでなくまわりの意識の変化が必要だということを痛感する小説です。

著 朱川湊人

出版社 NHK出版

LGBTってなんだろう？

からだの性・こころの性・好きになる性



「LGBT」や「多様な性」といった言葉をよく聞くようになりました。言葉だけを知っている状態から、少し深めて理解するのに役立つ一冊です。一項目ごとに「LGBT学生の声」があるので、より身近な問題として感じられます。声を聞くことで、どういったことが課題なのか、どういう環境が必要なのかと考えることができます。まずは知ることから。

著 薬師実芳 ほか

出版社 合同出版

二番目の悪者



誰からも慕われる善良な人の「悪い噂」を聞いた時、その噂を信じますか？ 何かの間違いだと言いながらも信じ、出所や真偽も自分で確かめず広めてしまう。結果、善良な人がおとしめられる。このお話では噂を広めた者にも災厄が降りかかる結果になり、「何が悪かったのか」を考えるきっかけになりました。もし、自分に関わらなかったら？ タイトルが心に残る、大人絵本です。

著 林木林

出版社 小さい書房

わたしのじてんしゃ



わたしのじてんしゃ。これに乗って、冒険の旅に出る。私が必要なものをつけたいな。おふろ、トイレ、キッチン、プール…。いろいろつけていくうちに、冒険の旅よりもっといいことを思いつきました。可能性がどんどん広がる、読んでいて気持ちの良い本です。この作者の『はやくはやくっていわないで』『ネロリンピック』もおすすめてです。

作 益田ミリ

絵 平澤一平

出版社 ミンマ社

Think PINK

女の子は本当にピンクが好きなのか



女の子の「ピンク色」への想いの変遷を、子育て中の著者が実体験をもとに展開。生まれつきではなく、環境・教育で好きになり、そして好きじゃないといけない雰囲気を感じるようになり、その後離れる時期がやってくる。そして再び…。それは個人の好みだけではなく、「ピンクが好きなこと」がまわりからどう見られるかが影響しているからではないかと著者は考えます。「ピンク色」への理解が深まる一冊です。

著 堀越英美

出版社 Pヴァイン

WAM 百景 8

おすすめ図書のコーナー

図書やビデオ、インターネットが利用できる1階ネットワークギャラリーの入口に【おすすめ図書】コーナーがあります。

毎月2回、スタッフやアシスタントが「今まさにタイムリーなこと」「皆さんに伝えたい自分の熱い想い」「ローズWAMからの大切なメッセージ」などを基にひとつのテーマを掲げ、ローズ

WAMの8000冊を超える蔵書の中からおすすめの本を選びご紹介しています。

なかなか見つかることのできない、あなたの心に添う本に出会えるかもしれませんよ。



WAM相談

予約電話番号 072-620-9920 ●相談無料 ●一時保育あり(有料・要予約) ●いずれも火曜・日曜・祝日は除く

| | | | |
|-------------|---|--------------------------------|---------------------------------------|
| 女性面接相談(要予約) | 月曜日～土曜日 午前10時～午後4時 | 女性法律相談 (女性のみ・要予約) | 第3木・土曜日 午前9時30分～ 午後0時30分 |
| 女性電話相談 | TEL 621-0892 月曜日～土曜日 午前10時～午後4時 | 仕事なんでも相談 | 最終木曜日 午後1時～4時 (※平成28年12月は第4木曜日) |
| 男性のための電話相談 | TEL 620-9920 第3・4水曜日 午後6時30分～9時30分 (※平成28年11月は第3・5水曜日 平成28年12月は第2・3水曜日) | 女性のための キャリア相談 (女性のみ・要予約) | 第2木曜日 午後1時～4時30分 |

ローズWAMを活用しよう

※授乳室あります。

★会議室・ホールを借りる

予約受付時間：午前9時～午後5時(火曜日を除く)
利用時間：午前9時～午後9時30分
180人収容のホール、会議室、和室、料理工房の貸し出しをしています。要予約。毎月初日に抽選。以後、先着順受付。申込方法等詳しくはお問い合わせください。

★印刷工房を利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)
事前に講習会の受講が必要です。
印刷機材利用の実費として、利用料が必要です。

★ネットワークギャラリーを利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)
○図書の閲覧、図書・啓発DVDの貸し出し(1人5点2週間)
○インターネットの利用(基本：1人1日30分)
○DVDの視聴

★交流サロンを利用する

午前9時～午後7時(火曜日を除く)
予約不要。無料。
コピー機あります。(白黒のみ・有料)

★喫茶ぱーとなー

午前9時30分～午後5時(火曜定休)

開所時間：午前9時～午後10時

休所日：毎週火曜日

年末年始の休所日

平成28年12月28日(水)～

翌年1月4日(水)まで

保守点検のための臨時休所日

平成29年1月30日(月)

編集つれづれ

ローズWAMオープン之年から発行してきた「WAM通信」が通算50号を迎えるにあたり、今号は49&50合併号としてA4サイズオールカラーでお届けします。さらに多くの方に興味をもってもらえるようにと、表紙をはじめデザインを一新しました。いかがでしょうか？
WAM通信は、市民スタッフが毎回悪戦苦闘して編集しています。たくさんの方の学びながら、これからも日々の生活に根付いた男女共同参画社会の実現を、市民目線でお伝えしていきたいと思っています。(編集長・おれんじ)

ホームページアドレス

ローズWAM

検索



<http://www.rosewam.city.ibaraki.osaka.jp/>

Twitter



編集・発行

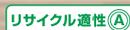


茨木市市民文化部 人権・男女共生課
茨木市立男女共生センターローズWAM

〒567-0882 茨木市元町4番7号

TEL 072-620-9920

駐車場は中央公園地下駐車場(有料)をご利用ください。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この冊子は11,000部作成し、1部当たりの単価は26.78円です。